



第1回保護者会

8月31日、第1回「寺子屋教室ジャボラ24」の保護者会を開催いたしました。
現在24世帯 合計32名の子ども達が「ジャボラ寺子屋教室」入級しています。そのうち半数の保護者（12世帯）の方にご出席いただきました。ありがとうございました。

当日内容

1. この教室の説明

今回は子どもの日本語や学校の勉強をサポートするという事だけの事業ではない。外国人と日本人の協働での地域づくりを進めるというプロジェクトであるため、この教室に関わる人に国籍等の垣根はない。この教室から外国人と日本人の共生意識が強くなることを大きな目的としている。続いていく事が大切なので保護者の皆様も時間を作って、この事業に協力をしていただきたい。

2. 保護者へのお願い

- ・夜、子どもを一人で家に置いている家庭へお願い。
日本の経済状態が少しよくなり、やっと仕事が見つかった保護者もいる。しかし仕事の関係で子どもに留守番をさせている家庭が多くなった結果、子ども達が寂しい思いをしている。子どもなりに親の大変さを理解して頑張っているようだが、食生活だけは十分すぎるぐらい、気をつけてあげてほしい。朝ごはんや晩ごはんも一人きりで食べていたり、買い食いをさせていたりということが続かないようにお願いしたい。他人の子どもでも、自分の子どものように教室内の子どもの事はお互いに気にかけてほしい。
- ・外国人学校の子どものも日本で仕事をして生きていくなら日本語が必要不可欠。保護者からも日本語の学習を頑張るよう励ましてほしい。
- ・日本人と外国人のコミュニケーションを深めていきたい。毎日とは言わないし、勉強を教えなくてもいいので、教室を見に来てほしい。学校からのちらしや手紙を親が読めないため子どもが親に渡せずに、ちらし等を丸めて鞆に入れっぱなしにしてあるケースもある。簡単な日本語ができる方はちらしや手紙を見てあげて、仕分けをしてくれるだけでもいいから手伝ってほしい。日本語はできないが掃除をしてくれるというだけでもいい。みんなで教室を運営していきたい。
- ・母語でたくさん子どもに話しかけてほしい。第一言語が育つことで、第二言語が補われていく。思考力や感情を詳細に表すためには第一言語が重要。保護者の皆さんの一番重要なことは毎日子どもとたくさん会話してくれる事です。また母語でいいですから本をたくさん読めるような環境をつくらせてほしい。(たとえば日曜日は一緒に図書館へ行く等)。またゲームをかってあげるより本を買い与えてほしい。この教室では多読といってたくさんの本を読むよう教えています。



3. 各児童生徒の担当者から保護者へ一言

4. 第2回保護者会について

次回保護者会は、10月20日(土)に防災教室を行います。全世帯が必ずご出席くださいますように宜しくお願い致します。なお、時間が13時半からに変更になりました。当日はこの教室を貸してくれた自治会の日本人が多数出席いたします。今から出席できるようスケジュールをあけてください